

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月12日 (2017.10.12)

【公開番号】特開2016-125618(P2016-125618A)

【公開日】平成28年7月11日 (2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2015-1442(P2015-1442)

【国際特許分類】

F 1 6 K 3/06 (2006.01)

F 1 6 K 51/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 3/06 B

F 1 6 K 51/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月1日 (2017.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

バルブ開口と、前記バルブ開口を開閉するバルブプレートと、を備える真空バルブであって、

前記バルブ開口の縁の一部は、外側に凸のくさび形状のくさび縁部であり、

前記くさび縁部は、前記バルブプレートを移動させて前記バルブ開口を開放させる際に、前記バルブプレートが前記バルブ開口を開放し始める領域に設けられている、真空バルブ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の真空バルブにおいて、

前記くさび縁部のくさびの頂点は、前記バルブプレートの縁が最初に前記バルブ開口の縁と接する位置に位置する、真空バルブ。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の真空バルブにおいて、

前記バルブ開口の形状は、前記くさび縁部のくさびの頂点から延びる第 1 線分と、前記くさびの頂点から延びる第 2 線分と、前記第 1 線分から延びる第 1 円弧と、前記第 2 線分から延びる第 2 円弧と、前記第 1 円弧と前記第 2 円弧とを繋ぐ第 3 円弧とからなる、真空バルブ。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 に記載の真空バルブにおいて、

前記バルブ開口の形状は、前記くさび縁部のくさびの頂点から延びる第 1 曲線と、前記くさびの頂点から延びる第 2 曲線と、前記第 1 曲線と前記第 2 曲線とを繋ぐ円弧とからなり、前記第 1 曲線と前記第 2 曲線とは前記バルブ開口の中心に向かって凸状となっている曲線である、真空バルブ。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の真空バルブにおいて、

前記くさび縁部が形成された部材が、前記バルブ開口に着脱可能に設けられている、真空バルブ。